

本が集まる「言葉の森」で、 すぐそばにある森のことを もっと知ってもらいたい。

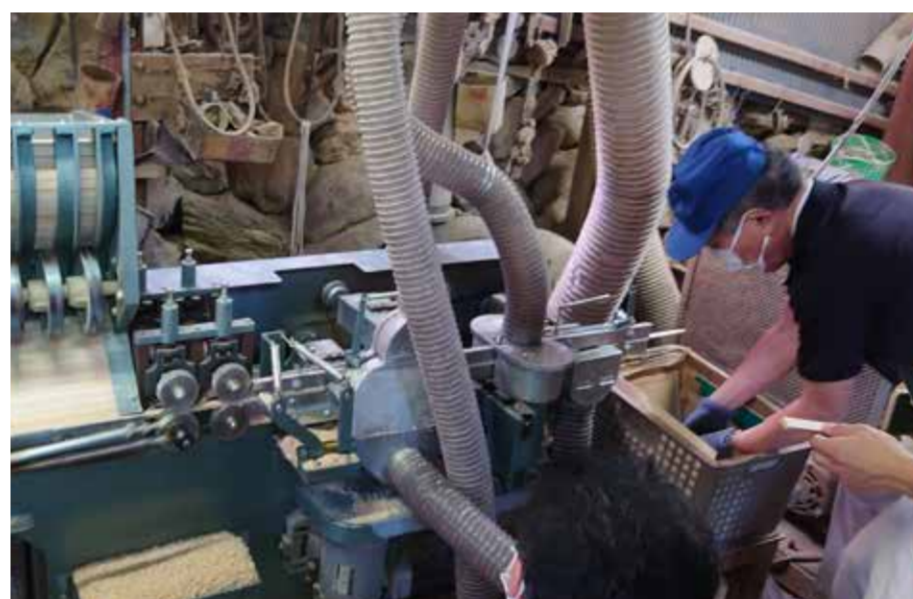
「図書館で割箸プロジェクト」

「緑の募金」を活用して、「暮らし」と「森林」のつながりを考え、日ごろの生活の中で地域の木材を意識して使うきっかけとして、原産地・製材・加工のすべてが静岡県内という、まさに静岡生まれ、静岡育ちの割箸を作製し、図書館で配布する取組を始めました。

割箸のふるさと

木のぬくもりを感じながら、 割箸を作る「作業所せきれい」

せきれい(浜松市天竜区)は、県西部から仕入れた背板を割箸へ加工・パッケージングする就労継続支援B型事業所です。手作業と機械作業を組み合わせ、優しく手になじむ割箸が生まれます。



丸太を余すことなく活用する 「株式会社フジイチ」

株式会社フジイチ(浜松市天竜区)は植林から建築用材などの製材までを一貫して行います。せきれいへ卸す割箸用の背板は、大径木から柱や板をとった後の残りです。割箸づくりは、丸太を余すことなく使う有効活用でもあります。



木が育ち、暮らしとつながる「森林」

丸太のふるさとは、林業で働く人たちにより守り、育てられた水源の森林です。その森林の多くは、伐採・収穫に適する樹齢50~70年に達しています。そんな森林から伐採・収穫された丸太が、加工され、背板が割箸に生まれ変わりました。



本を借りた方に、割箸(利休箸)をプレゼントします。
ぜひ、食卓でお使いください。

